

令和3年度国立大学法人運営費交付金 「成果を中心とする実績状況に基づく配分」について

1. 成果を中心とする実績状況に基づく配分の概要

国立大学法人及び大学共同利用機関法人（以下、「国立大学法人等」という。）においては、国立大学法人運営費交付金において、各国立大学法人等の機能強化に向けた取組を支援するため、3つの重点支援の枠組による評価に基づく配分のほか、令和元年度予算から、各国立大学法人等の成果や実績を評価する「成果を中心とする実績状況に基づく配分」の仕組みを導入している。

令和3年度においては、令和2年度と同様、教育・研究・経営の13の指標により評価を行った。その際、学問分野ごとの特性を踏まえた評価となるよう、教育及び研究に係る指標については、各国立大学法人等の実績を学系（※）ごとに分けて評価を行っている。その上で、教育研究の安定性・継続性と改革インセンティブの一層の向上などを総合的に勘案し、この仕組みによる今年度の配分対象経費は1,000億円、配分率は80%～120%とした。

なお、本仕組みについては、第4期中期目標期間における国立大学法人運営費交付金の在り方について議論した文部科学省の有識者会議の審議まとめにおいて、アウトカム重視の指標への厳選や評価に当たってのグループ分けの見直しなど更なる改善に向けた提言がなされていることを踏まえ、今後、第4期中期目標期間の初年度となる令和4年度の予算編成に向けて具体的な見直しを進めていくこととしている。

※学系…

国立大学法人評価の中で、（独）大学改革支援・学位授与機構が実施する教育研究に関する評価において実施される「現況分析」における評価単位。（人文科学系、社会科学系、理学系、工学系、農学系、保健系、教育系、総合文系、総合理系、総合融合系）

2. 配分指標

令和3年度における「成果を中心とする実績状況に基づく配分」に活用する指標及び概要は、次のとおり。なお、各指標の算定方法、データの定義等については、各項目の頁に詳細を記載している。

【配分指標（13指標）】

〔配分対象経費：1,000億円（教育：120億円、研究：455億円、経営：425億円）〕

○【教育】卒業・修了者の就職・進学等の状況（45億円）

大学の教育による成果として、卒業・修了者がどれだけ就職あるいは進学しているかについて、卒業・修了者数当たりの就職・進学等の状況に基づき、学系（※）ごとに評価

○【教育】博士号授与の状況（45億円）

特に博士課程における学修成果として、学位をどれだけ授与しているかについて、博士課程入学定員当たりの学位授与数の状況に基づき、学系ごとに評価

○【教育】カリキュラム編成上の工夫の状況（30億円）

各大学における教育課程において、教育内容の充実に資する取組や学修成果の質保証に資する取組がどれだけ行われているかについて、カリキュラム編成上の工夫の状況に基づき、学系ごとに評価

○【研究・経営】若手研究者比率（150億円）

各機関の研究環境の向上・改善の観点から、若手研究者がどれだけ在籍しているかについて、常勤教員数当たりの若手研究者数の状況に基づき、学系ごとに評価

○【研究】運営費交付金等コスト当たりTOP10%論文数※（115億円）

各機関が質の高い研究成果をどれだけ算出しているかについて、運営費交付金など基盤的経費投入コスト当たりの被引用数TOP10%の論文の件数に基づき、評価

※重点支援③を選択した国立大学及び大学共同利用機関を対象

○【研究】常勤教員当たり研究業績数（95億円）

各機関の研究活動の結果として、どれだけの成果を創出しているかについて、常勤教員当たりの研究業績数に基づき、学系ごとに評価

○【研究】常勤教員当たり科研費獲得額・件数（95億円）

各機関の研究活動や研究環境整備の成果として、科研費をどれだけ獲得しているかについて、常勤教員当たりの科研費獲得額及び件数の状況に基づき、学系ごとに評価

○ **〔経営・研究〕常勤教員当たり受託・共同研究等受入額（95 億円）**

各機関がどれだけ研究教育資金を獲得しているかについて、常勤教員当たりの受託・共同研究、受託事業受入額の状況に基づき、重点支援の枠組ごとに、学系ごとの評価の要素を加味して評価

○ **〔経営〕人事給与マネジメント改革状況（70 億円）**

各機関における人事給与マネジメント改革の進捗状況について、人事計画の策定状況、全学統一的な業績評価の実施状況、外部資金の活用状況を各法人へ調査し、その回答に基づき、重点支援の枠組ごとに評価

○ **〔経営〕ダイバーシティ環境醸成の状況（15 億円）**

各機関におけるダイバーシティ環境がどれだけ醸成されているかについて、外国人教員・女性教員の比率や留学生・社会人学生・障害学生の比率、障害者雇用比率に基づき、重点支援の枠組ごとに評価

○ **〔経営〕会計マネジメント改革状況（70 億円）**

各機関における会計マネジメント改革の進捗状況について、学内のマネジメント、学外への情報開示、産学連携推進に向けた環境整備の取組を各法人へ調査し、その回答に基づき、重点支援の枠組ごとに評価

○ **〔経営〕寄附金等の経営資金獲得実績（150 億円）**

各機関がどれだけ経営資金を獲得しているかについて、教員一人当たりの寄附金及び雑収入の獲得実績に基づき、重点支援の枠組ごとに評価

○ **〔経営〕施設マネジメント改革状況（25 億円）**

各機関における施設マネジメント改革の進捗状況について、施設の有効活用、適切な維持管理、サステイナブル・キャンパスの形成に向けた取組状況を各法人へ調査し、その回答に基づき、重点支援の枠組ごとに評価

3. 各指標の配分率

各指標の配分率については、指標の算定方法（各項目の頁を参照）により得られた数値に基づき、重点支援評価の枠組ごとに、以下のとおり設定する。

【配分率】

数値が重点支援評価の枠組内において

上位 10%以上に位置	:	120%
20%以上	:	115%
30%以上	:	110%
40%以上	:	105%
50%以上	:	100%
70%以上	:	95%
80%以上	:	90%
90%以上	:	85%
90%未満	:	80%

なお、配分額は、運営費交付金の予算規模に占める各機関のシェア率を指標ごとの評価対象経費に乗じて得られた額（配分基礎額）に、各指標の配分率を乗じることにより算定している。

成果を中心とする実績状況に基づく配分 指標別配分率 総表（1 / 2）

【重点支援①】

大学名	配分率												
	卒業・修了者の就職・進学等の状況	博士号授与の状況	カリキュラム編成上の工夫の状況	若手研究者比率	運営費交付金等コスト当たりTOP10論文数	常勤教員当たり研究業績数	常勤教員当たり科研究費獲得額・件数	常勤教員当たり受託・共同研究受入額	人事給与マネジメント改革状況	ダイバーシティ環境醸成の状況	会計マネジメント改革状況	寄附金等の経営資金獲得実績	施設マネジメント改革状況
北海道教育大学	85%	100%	120%	100%	-	110%	80%	80%	90%	85%	110%	80%	105%
室蘭工業大学	90%	120%	85%	90%	-	95%	80%	90%	100%	95%	105%	95%	95%
小樽商科大学	115%	95%	95%	105%	-	85%	95%	80%	90%	120%	105%	95%	115%
帯広畜産大学	80%	115%	120%	115%	-	110%	110%	95%	110%	90%	100%	120%	115%
旭川医科大学	80%	95%	80%	120%	-	80%	80%	95%	80%	100%	80%	115%	95%
北見工業大学	90%	120%	85%	105%	-	90%	80%	90%	85%	120%	90%	90%	105%
弘前大学	110%	85%	105%	105%	-	110%	100%	115%	105%	100%	110%	105%	115%
岩手大学	95%	100%	105%	85%	-	110%	95%	105%	100%	90%	90%	95%	95%
宮城教育大学	95%	100%	85%	80%	-	90%	105%	85%	80%	90%	85%	80%	85%
秋田大学	105%	100%	105%	80%	-	100%	90%	95%	120%	115%	100%	95%	105%
山形大学	110%	90%	90%	110%	-	80%	90%	120%	115%	100%	100%	110%	115%
福島大学	120%	80%	85%	100%	-	90%	85%	115%	115%	95%	105%	85%	85%
茨城大学	90%	85%	105%	90%	-	95%	95%	105%	90%	80%	100%	95%	95%
宇都宮大学	105%	80%	95%	95%	-	100%	105%	105%	100%	100%	85%	95%	95%
群馬大学	90%	105%	90%	120%	-	90%	110%	105%	115%	80%	110%	95%	115%
埼玉大学	95%	90%	80%	95%	-	100%	120%	90%	105%	105%	80%	105%	95%
横浜国立大学	90%	100%	95%	100%	-	115%	120%	115%	95%	105%	120%	95%	120%
新潟大学	115%	95%	85%	95%	-	100%	120%	100%	115%	95%	100%	105%	85%
長岡技術科学大学	100%	120%	120%	105%	-	120%	115%	120%	115%	115%	120%	110%	95%
上越教育大学	115%	100%	120%	95%	-	115%	95%	80%	90%	105%	95%	80%	105%
富山大学	115%	105%	95%	85%	-	105%	95%	90%	100%	85%	120%	95%	115%
福井大学	120%	90%	95%	95%	-	95%	100%	110%	100%	110%	120%	100%	120%
山梨大学	95%	110%	100%	120%	-	85%	90%	85%	95%	80%	90%	95%	85%
信州大学	105%	100%	120%	115%	-	115%	115%	115%	120%	115%	110%	105%	105%
岐阜大学	110%	85%	95%	105%	-	110%	100%	110%	110%	105%	105%	120%	120%
静岡大学	115%	115%	100%	105%	-	100%	110%	100%	85%	100%	105%	85%	80%
浜松医科大学	120%	110%	120%	90%	-	115%	110%	105%	95%	105%	95%	115%	105%
愛知教育大学	120%	80%	95%	95%	-	120%	105%	80%	90%	90%	120%	90%	120%
名古屋工業大学	115%	95%	120%	95%	-	120%	115%	120%	120%	95%	95%	100%	115%
豊橋技術科学大学	85%	95%	85%	115%	-	120%	120%	120%	95%	120%	85%	115%	115%
三重大学	105%	90%	95%	90%	-	105%	95%	110%	110%	85%	120%	105%	115%
滋賀大学	105%	110%	120%	115%	-	95%	95%	100%	85%	120%	80%	90%	85%
滋賀医科大学	95%	115%	120%	85%	-	115%	105%	110%	80%	115%	95%	115%	105%
京都教育大学	120%	100%	120%	95%	-	105%	110%	80%	80%	80%	90%	120%	115%
京都工芸繊維大学	105%	105%	85%	90%	-	95%	95%	100%	105%	85%	80%	90%	85%
大阪教育大学	80%	100%	120%	80%	-	90%	105%	95%	80%	115%	85%	100%	105%
兵庫教育大学	95%	115%	120%	115%	-	95%	95%	85%	100%	110%	85%	80%	95%
奈良教育大学	80%	100%	120%	95%	-	115%	115%	110%	85%	95%	110%	80%	80%
和歌山大学	100%	80%	120%	85%	-	95%	95%	85%	105%	115%	100%	85%	105%
鳥取大学	110%	100%	80%	120%	-	85%	85%	95%	100%	95%	120%	90%	115%
島根大学	110%	85%	95%	110%	-	95%	80%	90%	95%	110%	90%	90%	115%
山口大学	100%	95%	95%	100%	-	95%	100%	105%	115%	90%	120%	110%	95%
徳島大学	95%	95%	100%	120%	-	85%	115%	100%	115%	80%	115%	120%	105%
鳴門教育大学	95%	100%	85%	80%	-	95%	100%	85%	85%	110%	85%	80%	105%
香川大学	100%	85%	100%	85%	-	105%	90%	95%	95%	105%	105%	110%	115%
愛媛大学	95%	110%	120%	110%	-	85%	105%	95%	120%	85%	115%	115%	105%
高知大学	95%	95%	100%	95%	-	80%	85%	90%	95%	110%	100%	105%	115%
福岡教育大学	80%	100%	95%	95%	-	105%	90%	80%	80%	80%	100%	85%	105%
佐賀大学	100%	115%	120%	110%	-	90%	85%	95%	100%	95%	100%	100%	115%
長崎大学	85%	110%	120%	100%	-	105%	115%	120%	105%	120%	115%	100%	105%
熊本大学	90%	95%	90%	80%	-	120%	120%	115%	105%	95%	115%	120%	95%
大分大学	95%	80%	90%	115%	-	80%	90%	95%	90%	95%	100%	95%	120%
宮崎大学	85%	120%	105%	110%	-	95%	85%	95%	110%	95%	90%	110%	105%
鹿児島大学	85%	105%	90%	90%	-	80%	95%	95%	120%	95%	115%	115%	115%
琉球大学	80%	90%	95%	80%	-	80%	80%	115%	95%	90%	90%	85%	85%

成果を中心とする実績状況に基づく配分 指標別配分率 総表 (2 / 2)

【重点支援②】

大学名	配分率												
	卒業・修了者の就職・進学等の状況	博士号授与の状況	カリキュラム編成上の工夫の状況	若手研究者比率	運営費交付金等コスト当たりTOP10%論文数	常勤教員当たり研究業績数	常勤教員当たり科研費獲得額・件数	常勤教員当たり受託・共同研究受入額	人事給与マネジメント改革状況	ダイバーシティ環境醸成の状況	会計マネジメント改革状況	寄附金等の経営資金獲得実績	施設マネジメント改革状況
筑波技術大学	85%	100%	80%	85%	-	80%	80%	80%	90%	120%	90%	80%	80%
東京医科歯科大学	80%	110%	95%	115%	-	105%	110%	110%	115%	105%	115%	115%	115%
東京外国語大学	105%	80%	95%	95%	-	95%	105%	85%	115%	110%	120%	95%	95%
東京学芸大学	90%	100%	95%	80%	-	95%	95%	90%	85%	95%	100%	105%	90%
東京芸術大学	95%	100%	120%	95%	-	115%	85%	120%	90%	90%	95%	110%	90%
東京海洋大学	95%	115%	90%	90%	-	80%	95%	95%	110%	80%	110%	95%	105%
お茶の水女子大学	95%	95%	120%	105%	-	85%	90%	100%	105%	105%	110%	120%	110%
電気通信大学	110%	85%	120%	105%	-	100%	100%	95%	120%	85%	115%	90%	115%
奈良女子大学	115%	80%	90%	95%	-	90%	80%	90%	105%	95%	85%	85%	95%
九州工業大学	105%	105%	120%	90%	-	105%	95%	115%	95%	80%	110%	105%	105%
鹿屋体育大学	100%	90%	120%	110%	-	95%	90%	95%	100%	90%	95%	90%	105%
政策研究大学院大学	120%	120%	85%	80%	-	110%	115%	115%	80%	115%	95%	115%	110%
総合研究大学院大学	80%	110%	85%	100%	-	90%	120%	80%	80%	100%	80%	80%	80%
北陸先端科学技術大学院大学	90%	90%	120%	115%	-	115%	105%	105%	95%	115%	80%	100%	95%
奈良先端科学技術大学院大学	115%	95%	120%	120%	-	120%	115%	105%	95%	95%	95%	95%	120%

【重点支援③】

大学名	配分率												
	卒業・修了者の就職・進学等の状況	博士号授与の状況	カリキュラム編成上の工夫の状況	若手研究者比率	運営費交付金等コスト当たりTOP10%論文数	常勤教員当たり研究業績数	常勤教員当たり科研費獲得額・件数	常勤教員当たり受託・共同研究受入額	人事給与マネジメント改革状況	ダイバーシティ環境醸成の状況	会計マネジメント改革状況	寄附金等の経営資金獲得実績	施設マネジメント改革状況
北海道大学	90%	90%	105%	100%	85%	80%	95%	95%	80%	90%	110%	85%	100%
東北大学	100%	100%	120%	115%	105%	105%	105%	100%	120%	85%	110%	85%	85%
筑波大学	95%	110%	100%	90%	90%	95%	85%	95%	95%	115%	105%	100%	115%
千葉大学	95%	115%	120%	95%	90%	100%	85%	90%	105%	100%	120%	100%	100%
東京大学	80%	100%	80%	120%	115%	115%	115%	120%	85%	115%	80%	115%	115%
東京農工大学	95%	120%	95%	85%	95%	115%	105%	115%	85%	95%	85%	110%	100%
東京工業大学	110%	80%	120%	115%	120%	95%	95%	110%	95%	95%	100%	95%	100%
一橋大学	115%	80%	95%	85%	100%	90%	110%	85%	90%	120%	80%	115%	80%
金沢大学	120%	105%	85%	80%	80%	85%	95%	80%	105%	85%	95%	80%	115%
名古屋大学	105%	85%	95%	110%	115%	105%	100%	105%	120%	110%	120%	105%	100%
京都大学	85%	95%	80%	105%	110%	120%	120%	105%	95%	95%	85%	120%	115%
大阪大学	100%	95%	120%	105%	105%	100%	115%	115%	115%	105%	95%	105%	120%
神戸大学	105%	115%	85%	100%	100%	95%	90%	100%	110%	80%	95%	95%	100%
岡山大学	115%	105%	90%	95%	95%	80%	80%	85%	80%	100%	100%	90%	100%
広島大学	85%	95%	100%	95%	80%	85%	80%	80%	105%	105%	115%	80%	120%
九州大学	80%	85%	120%	80%	95%	110%	100%	95%	105%	80%	100%	95%	85%

【大学共同利用機関法人】

機関名	配分率												
	卒業・修了者の就職・進学等の状況	博士号授与の状況	カリキュラム編成上の工夫の状況	若手研究者比率	運営費交付金等コスト当たりTOP10%論文数	常勤教員当たり研究業績数	常勤教員当たり科研費獲得額・件数	常勤教員当たり受託・共同研究受入額	人事給与マネジメント改革状況	ダイバーシティ環境醸成の状況	会計マネジメント改革状況	寄附金等の経営資金獲得実績	施設マネジメント改革状況
人間文化研究機構	100%	100%	100%	80%	100%	120%	110%	110%	90%	120%	90%	120%	110%
自然科学研究機構	100%	100%	100%	120%	90%	90%	90%	80%	120%	80%	90%	80%	80%
高エネルギー加速器研究機構	100%	100%	100%	90%	120%	80%	80%	90%	110%	110%	120%	110%	120%
情報・システム研究機構	100%	100%	100%	110%	110%	110%	120%	120%	80%	90%	120%	90%	110%

運営費交付金等コスト当たりTOP10%論文数

【重点支援③】

大学名	運営費交付金等+ 科研費等 (億円)	TOP10%論文数 (整数以外) (編)	運営費交付金等 コスト当たり TOP10%論文数	配分率
北海道大学	402.530	1,183	2.939	85%
東北大学	533.976	1,909	3.575	105%
筑波大学	381.770	1,154	3.023	90%
千葉大学	191.213	595	3.112	90%
東京大学	991.435	4,398	4.436	115%
東京農工大学	70.632	234	3.313	95%
東京工業大学	250.384	1,239	4.948	120%
一橋大学	60.508	29	0.479	100%
金沢大学	168.072	446	2.654	80%
名古屋大学	369.976	1,655	4.473	115%
京都大学	648.154	2,781	4.291	110%
大阪大学	524.623	1,955	3.726	105%
神戸大学	225.963	774	3.425	100%
岡山大学	189.239	636	3.361	95%
広島大学	262.936	717	2.727	80%
九州大学	448.103	1,511	3.372	95%

【大学共同利用機関法人】

機構名	運営費交付金等+ 科研費等 (億円)	TOP10%論文数 (整数以外) (編)	運営費交付金等 コスト当たり TOP10%論文数	配分率
人間文化研究機構	119.369	37	0.310	100%
自然科学研究機構	286.572	552	1.926	90%
高エネルギー加速器研究機構	163.473	445	2.722	120%
情報・システム研究機構	214.412	420	1.959	110%

人事給与とマネジメント改革状況（1/2）

【重点支援①】

大学等名	1. 人事計画の策定状況【配点5点】				2. 全学統一的な業績評価の実施状況【配点3点】				3. 外部資金の活用状況【配点4点】						合計	配分率
	(1) 適正な年齢構成の実現				(1) 教員の業績を適切に評価するとともに処遇に反映するための取組		(2) 新年俸制の導入について		(1) 人件費への外部資金の活用状況			(2) クロスアポイントメント制度の活用状況				
	①適正な年齢構成を定め、実績とともに公表している	②中長期的な雇用計画を策定している	③シニア教員に対する人事給与施策を通じた、若手教員の安定的なポスト確保	④若手研究者比率の向上に取り組んでいる	①年齢や職位に関わらず優れた業績を適切に評価、処遇に反映	②評価を処遇に反映する際の給与以外への活用	①新年俸制を導入	②月給制に比して、業績をより適切に給与に反映させる仕組み	①任期なし教員の雇用財源に外部資金を活用している	②教員の能力等に応じた高額給与の制度を実施	③外部資金での雇用により捻出された学内財源の有効活用	①民間企業とのクロスアポイントメントの推進 派遣	②制度適用教員に対してインセンティブを付与			
北海道教育大学	1	1	1	0	0.5	0.6	0.5	0.5	1	0	0.5	0	0	0	6.6	90%
室蘭工業大学	0	2	1	0	1	0.6	0.5	0.5	1	0.5	0	0	0.2	1	8.3	100%
小樽商科大学	0	2	0	0	1	0.8	0.5	0.5	0	0.5	0	0	0.2	1	6.5	90%
帯広畜産大学	0	2	1	0	1	0.8	0.5	0.5	1	0.5	0.5	0	0.3	1	9.1	110%
旭川医科大学	0	0	0	0	1	0.6	0.5	0.5	0	0	0	0	0	1	3.6	80%
北見工業大学	0	2	1	0	1	0.8	0.5	0.5	0	0	0	0	0.2	0	6.0	85%
弘前大学	1	2	1	0	1	0.8	0	0	1	0.5	0.5	0	0	1	8.8	105%
岩手大学	0	2	1	0	1	0.6	0.5	0.5	1	0.5	0	0	0	1	8.1	100%
宮城教育大学	0	2	0	0	1	0.4	0.5	0	0	0	0	0	0	0	3.9	80%
秋田大学	1	2	1	0	1	1	0.5	0.5	1	0.5	0.5	0	0.1	1	10.1	120%
山形大学	1	2	1	0	1	1	0.5	0.5	1	0.5	0	0	0.1	1	9.6	115%
福島大学	1	2	1	0	1	0.6	0.5	0.5	1	0.5	0.5	0	0	1	9.6	115%
茨城大学	0	2	0	0	1	0.8	0	0	1	0	0	0.3	0.1	1	6.2	90%
宇都宮大学	0	2	1	0	1	0.6	0.5	0.5	1	0.5	0	0	0	1	8.1	100%
群馬大学	1	2	1	0	1	1	0.5	0.5	1	0	0.5	0	0	1	9.5	115%
埼玉大学	1	2	1	0	1	1	0	0	1	0.5	0	0	0.1	1	8.6	105%
横浜国立大学	0	2	1	0	1	0.2	0.5	0.5	1	0	0.5	0	0	1	7.7	95%
新潟大学	1	2	1	0	1	1	0.5	0.5	1	0.5	0.5	0	0	1	10.0	115%
長岡技術科学大学	1	2	1	0	1	1	0.5	0.5	1	0.5	0.5	0	0.5	1	10.0	115%
上越教育大学	1	2	0	0	1	1	0.5	0.5	0	0.5	0	0	0	0	6.5	90%
富山大学	1	2	1	0	1	0.6	0.5	0.5	0	0.5	0	0	0	1	8.1	100%
福井大学	0	2	1	0	1	0.2	0.5	0.5	1	0.5	0.5	0	0	1	8.2	100%
山梨大学	1	2	1	0	1	1	0.5	0.5	0	0	0	0	0	1	8.0	95%
信州大学	1	2	1	0	1	1	0.5	0.5	1	0.5	0.5	0	0.1	1	10.1	120%
岐阜大学	0	2	1	0	1	1	0.5	0.5	1	0.5	0.5	0	0	1	9.0	110%
静岡大学	0	2	1	0	1	0	0.5	0.5	0	0	0	0	0	1	6.0	85%
浜松医科大学	1	2	1	0	1	0.6	0.5	0.5	0	0	0	0	0	1	7.6	95%
愛知教育大学	0	2	0	0	1	1	0.5	0.5	0	0	0	0	0.1	1	6.1	90%
名古屋工業大学	1	2	1	0	1	1	0.5	0.5	1	0.5	0.5	0	0.4	1	10.4	120%
豊橋技術科学大学	1	2	0	0	1	0.4	0.5	0.5	0	0.5	0	0.5	0.2	1	7.6	95%
三重大学	1	2	1	0	1	1	0.5	0.5	1	0	0	0	0	1	9.0	110%
滋賀大学	0	2	0	0	1	0.4	0.5	0.5	1	0.5	0	0	0	0	5.9	85%
滋賀医科大学	0	2	0	0	1	0	0.5	0.5	1	0	0	0	0	0	5.0	80%
京都教育大学	0	2	0	0	1	0.8	0.5	0	0	0	0	0	0	0	4.3	80%
京都工芸繊維大学	0	2	1	0	1	0.4	0.5	0.5	1	0.5	0	0.4	0.3	1	8.6	105%
大阪教育大学	0	0	0	0	1	0.4	0.5	0.5	0	0	0	0	0.1	1	3.5	80%
兵庫教育大学	1	2	1	0	1	1	0.5	0.5	0	0	0	0	0.3	1	8.3	100%
奈良教育大学	0	2	1	0	1	1	0.5	0.5	0	0	0	0	0	0	6.0	85%
和歌山大学	0	2	1	0	1	0.8	0.5	0.5	1	0.5	0.5	0	0.1	1	8.9	105%
鳥取大学	0	2	1	0	1	0.6	0.5	0.5	1	0	0.5	0	0	1	8.1	100%
島根大学	1	2	0	0	1	1	0.5	0.5	1	0.5	0	0	0.1	0	7.1	95%
山口大学	1	2	1	0	1	1	0.5	0.5	1	0.5	0	0	0	1	9.5	115%
徳島大学	1	2	1	0	1	1	0.5	0.5	1	0.5	0.5	0	0	1	10.0	115%
鳴門教育大学	0	2	0	0	1	1	0.5	0.5	1	0	0	0	0	0	6.0	85%
香川大学	0	2	1	0	1	0.2	0.5	0.5	1	0	0	0	0	1	7.2	95%
愛媛大学	1	2	1	0	1	1	0.5	0.5	1	0.5	0.5	0	0.3	1	10.3	120%
高知大学	0	0	1	0	1	1	0.5	0.5	1	0.5	0.5	0	0.1	1	7.1	95%
福岡教育大学	0	2	0	0	1	0.6	0.5	0.5	0	0	0	0	0	0	4.6	80%
佐賀大学	0	2	1	0	1	1	0.5	0.5	1	0.5	0.5	0	0.1	0	8.1	100%
長崎大学	1	2	0	0	1	1	0.5	0.5	1	0.5	0.5	0	0.1	1	8.6	105%
熊本大学	0	2	1	0	1	0.4	0.5	0.5	1	0.5	0.5	0	0	1	8.4	105%
大分大学	0	2	1	0	1	0	0.5	0.5	0	0	0	0.4	0	1	6.4	90%
宮崎大学	1	2	0	0	1	1	0.5	0.5	1	0.5	0.5	0	0.1	1	9.1	110%
鹿児島大学	1	2	1	0	1	1	0.5	0.5	1	0.5	0.5	0	0.1	1	10.1	120%
琉球大学	0	2	1	0	1	0.4	0.5	0.5	1	0	0	0	0	1	7.4	95%

人事給与マネジメント改革状況（2/2）

【重点支援②】

大学等名	1. 人事計画の策定状況【配点5点】				2. 全学統一的な業績評価の実施状況【配点3点】				3. 外部資金の活用状況【配点4点】				合計	配分率		
	(1) 適正な年齢構成の実現				(1) 教員の業績を適切に評価するとともに処遇に反映するための取組		(2) 新年俸制の導入について		(1) 人件費への外部資金の活用状況		(2) クロスアポイントメント制度の活用状況					
	①適正な年齢構成を定め、実績とともに公表している	②中長期的な雇用計画を策定している	③シニア教員に対する人事給与施策を通じた、若手教員の安定的なポスト確保	④若手研究者比率の向上に取り組んでいる	①年齢や職位に関わらず優れた業績を適切に評価、処遇に反映	②評価を処遇に反映する際の給与以外への活用	①新年俸制を導入	②月給制に比して、業績をより適切に給与に反映させる仕組み	①任期なし教員の雇用財源に外部資金を活用している	②教員の能力等に応じた高額給与の制度を実施	③外部資金での雇用により捻出された学内財源の有効活用	①民間企業とのクロスアポイントメントの推進 派遣 受入			②制度適用教員に対してインセンティブを付与	
筑波技術大学	0	2	0	0	1	0.4	0	0	0	0.5	0	0	0	1	4.9	90%
東京医科歯科大学	0	2	1	0	1	1	0.5	0.5	1	0.5	0.5	0	0.1	1	9.1	115%
東京外国語大学	1	2	1	0	1	1	0.5	0.5	1	0.5	0.5	0	0	1	10.0	115%
東京学芸大学	0	2	0	0	0.5	0.4	0	0	0	0.5	0	0	0.3	1	4.7	85%
東京芸術大学	0	0	1	0	1	0.6	0	0	1	0.5	0.5	0	0	1	5.6	90%
東京海洋大学	0	2	1	0	1	1	0.5	0.5	1	0	0.5	0	0	1	8.5	110%
お茶の水女子大学	1	2	0	0	1	0.8	0.5	0.5	1	0	0.5	0	0	1	8.3	105%
電気通信大学	1	2	1	0	1	1	0.5	0.5	1	0.5	0.5	0.4	0	1	10.4	120%
奈良女子大学	1	2	1	0	1	1	0.5	0.5	0	0	0	0	0	1	8.0	105%
九州工業大学	1	2	0	0	1	0.4	0.5	0.5	0	0.5	0	0	0.1	1	7.0	95%
鹿屋体育大学	0	2	1	1	1	0.4	0.5	0.5	1	0.5	0	0	0	0	7.9	100%
政策研究大学院大学	0	0	0	0	0	1	0.8	0	0	1	0	0	0	0	2.8	80%
総合研究大学院大学	0	0	0	0	0.5	0.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0.9	80%
北陸先端科学技術大学院大学	1	2	1	1	1	0.4	0.5	0.5	0	0	0	0	0	0	7.4	95%
奈良先端科学技術大学院大学	0	2	0	0	1	0.4	0.5	0.5	0	0.5	0	0	0	1	5.9	95%

【重点支援③】

大学等名	1. 人事計画の策定状況【配点5点】				2. 全学統一的な業績評価の実施状況【配点3点】				3. 外部資金の活用状況【配点4点】				合計	配分率		
	(1) 適正な年齢構成の実現				(1) 教員の業績を適切に評価するとともに処遇に反映するための取組		(2) 新年俸制の導入について		(1) 人件費への外部資金の活用状況		(2) クロスアポイントメント制度の活用状況					
	①適正な年齢構成を定め、実績とともに公表している	②中長期的な雇用計画を策定している	③シニア教員に対する人事給与施策を通じた、若手教員の安定的なポスト確保	④若手研究者比率の向上に取り組んでいる	①年齢や職位に関わらず優れた業績を適切に評価、処遇に反映	②評価を処遇に反映する際の給与以外への活用	①新年俸制を導入	②月給制に比して、業績をより適切に給与に反映させる仕組み	①任期なし教員の雇用財源に外部資金を活用している	②教員の能力等に応じた高額給与の制度を実施	③外部資金での雇用により捻出された学内財源の有効活用	①民間企業とのクロスアポイントメントの推進 派遣 受入			②制度適用教員に対してインセンティブを付与	
北海道大学	0	0	1	0	1	1	0	0	1	0.5	0.5	0	0.1	1	6.1	80%
東北大学	1	2	1	0	1	1	0.5	0.5	1	0.5	0.5	0.2	0.2	1	10.4	120%
筑波大学	1	2	1	0	1	0.8	0.5	0.5	1	0	0.5	0.2	0.1	1	9.6	95%
千葉大学	1	2	1	0	1	1	0.5	0.5	1	0.5	0.5	0	0.1	1	10.1	105%
東京大学	0	2	1	0	1	1	0	0	1	0.5	0.5	0.1	0	1	8.1	85%
東京農工大学	0	2	1	0	1	1	0.5	0.5	1	0.5	0	0	0	1	8.5	85%
東京工業大学	1	2	1	0	1	0.6	0.5	0.5	1	0.5	0	0	0.1	1	9.2	95%
一橋大学	0	2	1	0	1	0.8	0.5	0.5	1	0.5	0.5	0	0	1	8.8	90%
金沢大学	0	2	1	1	1	1	0.5	0.5	1	0.5	0.5	0	0.1	1	10.1	105%
名古屋大学	1	2	1	0	1	1	0.5	0.5	1	0.5	0.5	0.2	0.2	1	10.4	120%
京都大学	1	2	1	0	1	1	0	0	1	0.5	0.5	0.1	0.1	1	9.2	95%
大阪大学	1	2	1	0	1	1	0.5	0.5	1	0.5	0.5	0.2	0.1	1	10.3	115%
神戸大学	1	2	1	0	1	1	0.5	0.5	1	0.5	0.5	0	0.2	1	10.2	110%
岡山大学	0	2	1	0	1	0.2	0.5	0.5	1	0	0	0	0.1	1	7.3	80%
広島大学	1	2	1	0	1	1	0.5	0.5	1	0.5	0.5	0	0.1	1	10.1	105%
九州大学	0	2	1	1	1	1	0.5	0.5	1	0.5	0.5	0	0.1	1	10.1	105%

【大学共同利用機関法人】

大学等名	1. 人事計画の策定状況【配点5点】				2. 全学統一的な業績評価の実施状況【配点3点】				3. 外部資金の活用状況【配点4点】				合計	配分率		
	(1) 適正な年齢構成の実現				(1) 教員の業績を適切に評価するとともに処遇に反映するための取組		(2) 新年俸制の導入について		(1) 人件費への外部資金の活用状況		(2) クロスアポイントメント制度の活用状況					
	①適正な年齢構成を定め、実績とともに公表している	②中長期的な雇用計画を策定している	③シニア教員に対する人事給与施策を通じた、若手教員の安定的なポスト確保	④若手研究者比率の向上に取り組んでいる	①年齢や職位に関わらず優れた業績を適切に評価、処遇に反映	②評価を処遇に反映する際の給与以外への活用	①新年俸制を導入	②月給制に比して、業績をより適切に給与に反映させる仕組み	①任期なし教員の雇用財源に外部資金を活用している	②教員の能力等に応じた高額給与の制度を実施	③外部資金での雇用により捻出された学内財源の有効活用	①民間企業とのクロスアポイントメントの推進 派遣 受入			②制度適用教員に対してインセンティブを付与	
人間文化研究機構	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3.5	90%
自然科学研究機構	1	2	1	1	1	0	0.5	0.5	0	0	0	0	0	1	8.0	120%
高エネルギー加速器研究機構	0	2	1	0	1	0.6	0.5	0.5	1	0	0	0	0	1	7.6	110%
情報・システム研究機構	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.0	80%

ダイバーシティ環境醸成の状況

【重点支援①】

大学名	偏差値 (平均)	配分率
北海道教育大学	46.778	85%
室蘭工業大学	48.608	95%
小樽商科大学	60.092	120%
帯広畜産大学	47.486	90%
旭川医科大学	49.137	100%
北見工業大学	60.782	120%
弘前大学	49.540	100%
岩手大学	47.386	90%
宮城教育大学	47.511	90%
秋田大学	54.191	115%
山形大学	49.179	100%
福島大学	48.988	95%
茨城大学	45.929	80%
宇都宮大学	49.119	100%
群馬大学	46.499	80%
埼玉大学	50.269	105%
横浜国立大学	51.356	105%
新潟大学	48.136	95%
長岡技術科学大学	52.851	115%
上越教育大学	51.304	105%
富山大学	47.165	85%
福井大学	51.699	110%
山梨大学	46.753	80%
信州大学	52.226	115%
岐阜大学	50.858	105%
静岡大学	49.640	100%
浜松医科大学	51.194	105%
愛知教育大学	47.693	90%
名古屋工業大学	48.151	95%
豊橋技術科学大学	55.971	120%
三重大学	47.052	85%
滋賀大学	56.658	120%
滋賀医科大学	53.002	115%
京都教育大学	46.416	80%
京都工芸繊維大学	46.783	85%
大阪教育大学	54.127	115%
兵庫教育大学	52.188	110%
奈良教育大学	48.179	95%
和歌山大学	53.543	115%
鳥取大学	48.971	95%
島根大学	51.522	110%
山口大学	47.514	90%
徳島大学	46.447	80%
鳴門教育大学	51.386	110%
香川大学	49.964	105%
愛媛大学	46.780	85%
高知大学	51.633	110%
福岡教育大学	46.676	80%
佐賀大学	48.720	95%
長崎大学	55.083	120%
熊本大学	48.453	95%
大分大学	48.020	95%
宮崎大学	47.891	95%
鹿児島大学	48.620	95%
琉球大学	47.884	90%

【重点支援②】

大学名	偏差値 (平均)	配分率
筑波技術大学	61.939	120%
東京医科歯科大学	50.324	105%
東京外国語大学	51.882	110%
東京学芸大学	47.063	95%
東京芸術大学	46.714	90%
東京海洋大学	45.076	80%
お茶の水女子大学	51.003	105%
電気通信大学	45.188	85%
奈良女子大学	48.261	95%
九州工業大学	44.103	80%
鹿屋体育大学	46.189	90%
政策研究大学院大学	61.248	115%
総合研究大学院大学	49.728	100%
北陸先端科学技術大学院大学	53.507	115%
奈良先端科学技術大学院大学	47.778	95%

【重点支援③】

大学名	偏差値 (平均)	配分率
北海道大学	48.411	90%
東北大学	47.754	85%
筑波大学	53.739	115%
千葉大学	50.457	100%
東京大学	53.588	115%
東京農工大学	48.417	95%
東京工業大学	48.563	95%
一橋大学	54.089	120%
金沢大学	47.919	85%
名古屋大学	52.093	110%
京都大学	48.725	95%
大阪大学	50.928	105%
神戸大学	47.534	80%
岡山大学	49.979	100%
広島大学	51.997	105%
九州大学	45.807	80%

【大学共同利用機関法人】

機構名	偏差値 (平均)	配分率
人間文化研究機構	62.031	120%
自然科学研究機構	42.820	80%
高エネルギー加速器研究機構	51.294	110%
情報・システム研究機構	43.855	90%

会計マネジメント改革状況（1/2）

【重点支援①】

大学名	1. 学内の見える化と戦略的な資金配分【配点3.5点】				2. 学外への見える化【配点4点】			3. 産学連携の推進のための環境整備【配点2点】	合計	合計 (補正後)	配分率
	(1) 成果配分指標の 評価結果の共有 状況	(2)① 成果配分指標の 予算配分への活 用状況	(2)② 独自評価による 成果・実績の予 算配分への活用 状況	(2)③ 決算情報と教育研 究成果・実績等の 比較分析及び活用 状況	(1) 学部・研究科等 ごとのセグメン ト情報の開示状 況	(2)① 大学独自の財務 報告書等による 情報開示の状況	(2)② ステークホル ダーに対する対 話型の情報開示 の状況	(1)① 間接経費等の 確保			
北海道教育大学	1	1	0.5	0	-	1	1	1	5.5	7.0	110%
室蘭工業大学	1	0	0.5	0.5	-	1	1	1	5	6.3	105%
小樽商科大学	1	1	0.5	0	-	0.5	1	1	5	6.3	105%
帯広畜産大学	1	0	0.5	1	-	1	1	0	4.5	5.7	100%
旭川医科大学	1	0	0	0	-	0	0	0	1	1.3	80%
北見工業大学	1	1	0.5	0	-	1	0	0	3.5	4.4	90%
弘前大学	1	1	0.5	1	2	0.5	0.5	0	6.5	6.5	110%
岩手大学	1	0	0	0	2	1	0.5	0.5	5	5.0	90%
宮城教育大学	1	0	0.5	0	-	1	0	0	2.5	3.2	85%
秋田大学	1	0	0.5	0	2	1	0	1	5.5	5.5	100%
山形大学	1	0	0.5	0	1	1	1	1	5.5	5.5	100%
福島大学	1	0	0.5	0.5	1	1	1	1	6	6.0	105%
茨城大学	1	0	0.5	0	2	0.5	1	0.5	5.5	5.5	100%
宇都宮大学	1	0	0.5	0	1	1	0	0.5	4	4.0	85%
群馬大学	1	1	0.5	0	2	1	0	1	6.5	6.5	110%
埼玉大学	1	0	0	0	0	1	0	1	3	3.0	80%
横浜国立大学	1	1	0.5	0	2	1	1	1	7.5	7.5	120%
新潟大学	1	0	0.5	0	2	0.5	1	0.5	5.5	5.5	100%
長岡技術科学大学	1	1	0.5	1	-	1	1	1	6.5	8.2	120%
上越教育大学	1	0	0	0	-	1	1	1	4	5.1	95%
富山大学	1	1	0.5	0	2	1	1	1	7.5	7.5	120%
福井大学	1	1	0.5	1	2	1	1	0.5	8	8.0	120%
山梨大学	1	0	0.5	0	2	1	0	0.5	5	5.0	90%
信州大学	1	1	0.5	0	2	1	1	0	6.5	6.5	110%
岐阜大学	1	0	0	0	2	1	0	2	6	6.0	105%
静岡大学	1	1	0.5	0.5	1	1	0	1	6	6.0	105%
浜松医科大学	1	0	0	0	-	1	1	1	4	5.1	95%
愛知教育大学	1	0	0.5	0.5	-	1	1	2	6	7.6	120%
名古屋工業大学	1	0	0.5	0	-	1	0.5	1	4	5.1	95%
豊橋技術科学大学	1	0	0.5	0	-	0	0	1	2.5	3.2	85%
三重大学	1	1	0.5	0.5	2	1	1	1	8	8.0	120%
滋賀大学	1	0	0	0	0	0	1	1	3	3.0	80%
滋賀医科大学	1	0	0.5	0	-	0.5	1	1	4	5.1	95%
京都教育大学	1	0	0.5	0.5	-	1	0.5	0	3.5	4.4	90%
京都工芸繊維大学	1	0	0	0	-	1	0	0	2	2.5	80%
大阪教育大学	1	0	0.5	0	-	0.5	0	1	3	3.8	85%
兵庫教育大学	1	0	0.5	0	-	0	0.5	0.5	2.5	3.2	85%
奈良教育大学	1	0	0.5	1	-	1	1	1	5.5	7.0	110%
和歌山大学	1	0	0.5	0	2	1	1	0	5.5	5.5	100%
鳥取大学	1	1	0.5	0	2	1	1	1	7.5	7.5	120%
島根大学	1	0	0	0	2	1	1	0	5	5.0	90%
山口大学	1	1	0.5	0	2	1	1	1	7.5	7.5	120%
徳島大学	1	1	0.5	0	2	0.5	1	1	7	7.0	115%
鳴門教育大学	1	0	0.5	0	-	1	0.5	0	3	3.8	85%
香川大学	1	0	0	0	2	1	1	1	6	6.0	105%
愛媛大学	1	0	0.5	0.5	2	1	1	1	7	7.0	115%
高知大学	1	0	0	0	2	1	1	0.5	5.5	5.5	100%
福岡教育大学	1	0	0.5	1	-	0.5	1	0.5	4.5	5.7	100%
佐賀大学	1	1	0.5	0	2	1	0	0	5.5	5.5	100%
長崎大学	1	1	0.5	1	2	1	0.5	0	7	7.0	115%
熊本大学	1	0	0.5	0	2	1	0.5	2	7	7.0	115%
大分大学	1	0	0.5	0	2	1	0	1	5.5	5.5	100%
宮崎大学	1	0	0.5	0	2	1	0.5	0	5	5.0	90%
鹿児島大学	1	1	0	0	2	1	1	1	7	7.0	115%
琉球大学	1	1	0	0	1	1	0.5	0	4.5	4.5	90%

※合計について、単科大学は合計点が異なることから補正を行っている

会計マネジメント改革状況 (2/2)

【重点支援②】

大学名	1. 学内の見える化と戦略的な資金配分【配点3.5点】				2. 学外への見える化【配点4点】			3. 産学連携の推進のための環境整備【配点2点】	合計	合計 (補正後)	配分率
	(1) 成果配分指標の 評価結果の共有 状況	(2)① 成果配分指標の 予算配分への活 用状況	(2)② 独自評価による 成果・実績の予 算配分への活用 状況	(2)③ 決算情報と教育研 究成果・実績等の 比較分析及び活用 状況	(1) 学部・研究科等 ごとのセグメン ト情報の開示状 況	(2)① 大学独自の財務 報告書等による 情報開示の状況	(2)② ステークホル ダーに対する対 話型の情報開示 の状況				
筑波技術大学	1	0	0.5	0	0	1	1	0	3.5	3.5	90%
東京医科歯科大学	1	0	0.5	1	1	1	0.5	2	7	7.0	115%
東京外国語大学	1	1	0.5	1	2	1	0.5	1	8	8.0	120%
東京学芸大学	1	0	0.5	0	-	1	0.5	1	4	5.1	100%
東京芸術大学	1	0	0.5	0	1	1	0.5	1	5	5.0	95%
東京海洋大学	1	0	0.5	0	1	1	1	1	5.5	5.5	110%
お茶の水女子大学	1	0	0.5	0	1	1	1	1	5.5	5.5	110%
電気通信大学	1	0	0.5	1	-	1	1	1	5.5	7.0	115%
奈良女子大学	1	0	0	0	1	0	0	1	3	3.0	85%
九州工業大学	1	1	0	0	1	0.5	1	1	5.5	5.5	110%
鹿屋体育大学	1	1	0.5	0	-	1	0	0	3.5	4.4	95%
政策研究大学院大学	1	1	0.5	0	-	0.5	0	0.5	3.5	4.4	95%
総合研究大学院大学	0	0	0	0	1	0.5	0	1	2.5	2.5	80%
北陸先端科学技術大学院大学	0	0	0.5	0	-	1	0	0	1.5	1.9	80%
奈良先端科学技術大学院大学	1	0	0	0	-	0.5	1	1	3.5	4.4	95%

【重点支援③】

大学名	1. 学内の見える化と戦略的な資金配分【配点3.5点】				2. 学外への見える化【配点4点】			3. 産学連携の推進のための環境整備【配点2点】	合計	合計 (補正後)	配分率
	(1) 成果配分指標の 評価結果の共有 状況	(2)① 成果配分指標の 予算配分への活 用状況	(2)② 独自評価による 成果・実績の予 算配分への活用 状況	(2)③ 決算情報と教育研 究成果・実績等の 比較分析及び活用 状況	(1) 学部・研究科等 ごとのセグメン ト情報の開示状 況	(2)① 大学独自の財務 報告書等による 情報開示の状況	(2)② ステークホル ダーに対する対 話型の情報開示 の状況				
北海道大学	1	1	0.5	0.5	2	1	1	1	8	8.0	110%
東北大学	1	1	0.5	0.5	2	1	1	1	8	8.0	110%
筑波大学	1	1	0.5	0.5	2	1	1	0.5	7.5	7.5	105%
千葉大学	1	1	0.5	1	2	1	1	2	9.5	9.5	120%
東京大学	0	0	0.5	0	0	1	1	1	3.5	3.5	80%
東京農工大学	1	0	0	0	1	1	0	1	4	4.0	85%
東京工業大学	1	0	0.5	0	1	1	1	2	6.5	6.5	100%
一橋大学	1	0	0	0	1	0.5	1	0	3.5	3.5	80%
金沢大学	0	0	0.5	1	2	1	1	0.5	6	6.0	95%
名古屋大学	1	1	0.5	1	2	1	1	2	9.5	9.5	120%
京都大学	0	1	0.5	1	0	1	1	0	4.5	4.5	85%
大阪大学	1	1	0.5	0	0.5	1	1	1	6	6.0	95%
神戸大学	1	0	0.5	0	2	1	1	0.5	6	6.0	95%
岡山大学	0	0	0.5	0	2	1	1	2	6.5	6.5	100%
広島大学	1	1	0.5	1	2	1	1	1	8.5	8.5	115%
九州大学	1	1	0.5	0.5	1	0.5	0.5	2	7	7.0	100%

【大学共同利用機関】

機関名	1. 学内の見える化と戦略的な資金配分【配点3.5点】				2. 学外への見える化【配点4点】			3. 産学連携の推進のための環境整備【配点2点】	合計	合計 (補正後)	配分率
	(1) 成果配分指標の 評価結果の共有 状況	(2)① 成果配分指標の 予算配分への活 用状況	(2)② 独自評価による 成果・実績の予 算配分への活用 状況	(2)③ 決算情報と教育研 究成果・実績等の 比較分析及び活用 状況	(1) 学部・研究科等 ごとのセグメン ト情報の開示状 況	(2)① 大学独自の財務 報告書等による 情報開示の状況	(2)② ステークホル ダーに対する対 話型の情報開示 の状況				
人間文化研究機構	1	1	0.5	0	2	1	1	0	6.5	6.5	90%
自然科学研究機構	1	0	0	0.5	2	1	1	1	6.5	6.5	90%
高エネルギー加速器研究機構	1	1	0.5	1	2	1	1	1	8.5	8.5	120%
情報・システム研究機構	1	1	0.5	1	2	1	1	1	8.5	8.5	120%

※合計について、単科大学は合計点が異なることから補正を行っている

寄附金等の経営資金獲得実績（1/2）

【重点支援①】

法人名	常勤 教員数	寄附金 (円)	雑収入 (円)	経営資金獲得実績 (円)	常勤教員当たり 経営資金獲得実績	配分率
北海道教育大学	367	76,963,926	161,399,202	238,363,128	649,490.81	80%
室蘭工業大学	172	89,679,726	120,440,724	210,120,450	1,221,630.52	95%
小樽商科大学	118	118,678,104	35,486,242	154,164,346	1,306,477.51	95%
帯広畜産大学	134	133,025,257	379,194,036	512,219,293	3,822,532.04	120%
旭川医科大学	360	425,791,080	292,833,447	718,624,527	1,996,179.24	115%
北見工業大学	139	90,814,680	60,073,863	150,888,543	1,085,529.09	90%
弘前大学	745	1,046,488,929	348,155,703	1,394,644,632	1,872,006.22	105%
岩手大学	428	142,218,463	405,479,900	547,698,363	1,279,669.07	95%
宮城教育大学	113	60,353,546	36,978,110	97,331,656	861,342.09	80%
秋田大学	546	548,852,824	199,421,517	748,274,341	1,370,465.83	95%
山形大学	808	971,348,398	614,540,217	1,585,888,615	1,962,733.43	110%
福島大学	291	158,694,430	104,456,959	263,151,389	904,300.31	85%
茨城大学	522	551,495,608	213,891,630	765,387,238	1,466,259.08	95%
宇都宮大学	328	205,374,357	248,356,010	453,730,367	1,383,324.29	95%
群馬大学	816	716,675,080	338,601,056	1,055,276,136	1,293,230.56	95%
埼玉大学	447	479,023,025	262,064,350	741,087,375	1,657,913.59	105%
横浜国立大学	557	500,748,515	246,024,867	746,773,382	1,340,706.25	95%
新潟大学	1,280	1,479,095,489	645,081,205	2,124,176,694	1,659,513.04	105%
長岡技術科学大学	198	248,531,582	124,305,799	372,837,381	1,883,017.08	110%
上越教育大学	143	35,341,025	86,505,001	121,846,026	852,070.11	80%
富山大学	843	749,883,191	266,964,373	1,016,847,564	1,206,224.87	95%
福井大学	608	686,485,579	219,063,084	905,548,663	1,489,389.25	100%
山梨大学	751	725,845,903	386,505,556	1,112,351,459	1,481,160.40	95%
信州大学	1,022	1,145,464,858	769,829,789	1,915,294,647	1,874,065.21	105%
岐阜大学	805	1,102,624,122	875,583,937	1,978,208,059	2,457,913.32	120%
静岡大学	693	429,837,687	251,461,487	681,299,174	983,115.69	85%
浜松医科大学	377	685,397,228	208,516,375	893,913,603	2,371,123.62	115%
愛知教育大学	204	87,247,659	137,243,299	224,490,958	1,100,445.87	90%
名古屋工業大学	353	240,597,778	298,276,545	538,874,323	1,526,556.16	100%
豊橋技術科学大学	201	210,517,713	187,855,978	398,373,691	1,981,958.66	115%
三重大学	816	899,670,569	501,514,259	1,401,184,828	1,717,138.27	105%
滋賀大学	212	147,976,029	74,957,847	222,933,876	1,051,574.89	90%
滋賀医科大学	369	447,309,578	313,920,394	761,229,972	2,062,953.85	115%
京都教育大学	107	191,307,910	77,540,840	268,848,750	2,512,605.14	120%
京都工芸繊維大学	279	177,036,587	124,809,990	301,846,577	1,081,887.37	90%
大阪教育大学	260	230,795,895	160,611,578	391,407,473	1,505,413.36	100%
兵庫教育大学	158	17,433,274	104,660,528	122,093,802	772,745.58	80%
奈良教育大学	92	23,003,206	53,423,134	76,426,340	830,721.09	80%
和歌山大学	271	115,591,780	135,903,370	251,495,150	928,026.38	85%
鳥取大学	746	466,668,942	423,918,511	890,587,453	1,193,816.96	90%
島根大学	748	540,836,920	335,101,175	875,938,095	1,171,040.23	90%
山口大学	941	800,010,883	1,060,837,725	1,860,848,608	1,977,522.43	110%
徳島大学	961	2,133,429,056	305,709,637	2,439,138,693	2,538,125.59	120%
鳴門教育大学	130	21,886,707	61,644,287	83,530,994	642,546.11	80%
香川大学	593	866,840,989	267,717,839	1,134,558,828	1,913,252.66	110%
愛媛大学	955	1,407,262,618	561,256,742	1,968,519,360	2,061,276.82	115%
高知大学	667	594,552,116	553,685,518	1,148,237,634	1,721,495.70	105%
福岡教育大学	159	50,486,150	88,669,186	139,155,336	875,190.79	85%
佐賀大学	658	653,238,998	323,509,343	976,748,341	1,484,419.97	100%
長崎大学	1,152	1,134,537,968	609,402,323	1,743,940,291	1,513,837.06	100%
熊本大学	960	1,780,454,869	518,882,088	2,299,336,957	2,395,142.66	120%
大分大学	631	543,844,019	293,386,951	837,230,970	1,326,831.97	95%
宮崎大学	730	653,600,204	758,595,813	1,412,196,017	1,934,515.09	110%
鹿児島大学	1,121	1,416,983,012	836,504,203	2,253,487,215	2,010,247.29	115%
琉球大学	828	414,043,656	376,605,593	790,649,249	954,890.40	85%

【重点支援②】

法人名	常勤 教員数	寄附金 (円)	雑収入 (円)	経営資金獲得実績 (円)	常勤教員当たり 経営資金獲得実績	配分率
筑波技術大学	108	32,400,434	37,467,433	69,867,867	646,924.69	80%
東京医科歯科大学	838	1,359,836,006	746,608,535	2,106,444,541	2,513,656.97	115%
東京外国語大学	244	53,299,770	367,627,973	420,927,743	1,725,113.70	95%
東京学芸大学	299	401,647,178	251,705,817	653,352,995	2,185,127.07	105%
東京芸術大学	277	362,304,317	272,840,581	635,144,898	2,292,941.87	110%
東京海洋大学	246	162,660,044	180,356,260	343,016,304	1,394,375.22	95%
お茶の水女子大学	226	835,665,099	150,057,295	985,722,394	4,361,603.51	120%
電気通信大学	328	321,197,296	96,879,687	418,076,983	1,274,624.95	90%
奈良女子大学	208	109,531,589	51,677,926	161,209,515	775,045.75	85%
九州工業大学	351	414,086,157	356,654,591	770,740,748	2,195,842.59	105%
鹿屋体育大学	61	37,457,000	46,307,130	83,764,130	1,373,182.46	90%
政策研究大学院大学	65	104,114,552	114,711,388	218,825,940	3,366,552.92	115%
総合研究大学院大学	23	14,437,930	3,247,232	17,685,162	768,920.09	80%
北陸先端科学技術大学院大学	151	130,367,380	156,598,307	286,965,687	1,900,435.01	100%
奈良先端科学技術大学院大学	224	229,923,140	134,561,058	364,484,198	1,627,161.60	95%

寄附金等の経営資金獲得実績（2/2）

【重点支援③】

法人名	常勤 教員数	寄附金 (円)	雑収入 (円)	経営資金獲得実績 (円)	常勤教員当たり 経営資金獲得実績	配分率
北海道大学	2,314	2,504,738,818	1,940,253,374	4,444,992,192	1,920,912.79	85%
東北大学	2,973	3,343,768,006	2,418,094,840	5,761,862,846	1,938,063.52	85%
筑波大学	1,856	2,809,067,265	2,095,553,321	4,904,620,586	2,642,575.75	100%
千葉大学	1,294	1,653,262,784	1,492,783,565	3,146,046,349	2,431,256.84	100%
東京大学	4,772	10,355,473,159	7,957,240,926	18,312,714,085	3,837,534.39	115%
東京農工大学	386	379,675,638	757,448,272	1,137,123,910	2,945,916.87	110%
東京工業大学	1,224	1,501,356,755	1,473,987,907	2,975,344,662	2,430,837.14	95%
一橋大学	304	816,440,356	416,908,838	1,233,349,194	4,057,069.72	115%
金沢大学	1,173	1,314,627,180	376,195,592	1,690,822,772	1,441,451.64	80%
名古屋大学	2,329	4,220,898,275	2,090,476,532	6,311,374,807	2,709,907.60	105%
京都大学	3,397	12,193,744,358	2,873,248,687	15,066,993,045	4,435,382.12	120%
大阪大学	3,254	5,988,191,064	3,108,502,790	9,096,693,854	2,795,542.06	105%
神戸大学	1,512	2,470,791,025	1,096,610,890	3,567,401,915	2,359,392.80	95%
岡山大学	1,457	2,023,600,254	933,604,165	2,957,204,419	2,029,653.00	90%
広島大学	1,713	2,055,681,456	624,670,473	2,680,351,929	1,564,712.16	80%
九州大学	2,367	3,600,770,906	1,885,198,506	5,485,969,412	2,317,688.81	95%

【大学共同利用機関】

法人名	常勤 教員数	寄附金 (円)	雑収入 (円)	経営資金獲得実績 (円)	常勤教員当たり 経営資金獲得実績	配分率
人間文化研究機構	237	77,518,814	433,225,904	510,744,718	2,155,041.00	120%
自然科学研究機構	504	326,588,861	219,731,981	546,320,842	1,083,969.93	80%
高エネルギー加速器研究機構	410	43,679,998	593,297,715	636,977,713	1,553,604.18	110%
情報・システム研究機構	314	51,815,203	300,050,848	351,866,051	1,120,592.52	90%

施設マネジメント改革状況(1/2)

【重点支援①】

大学等名	1. 施設の有効活用【配点3点】			2. 適切な維持管理【配点5点】				3. サステイナブル・キャンパスの形成に向けた取組状況【配点4点】		合計	配分率
	①施設利用状況調査の実施状況	②稼働率調査実施及び改善による稼働率の上昇	③満足度調査等の実施状況と調査結果のフィードバック	④個別施設計画の策定状況	⑤12条点検対象外建物における点検と改善計画の策定状況	⑥施設のトリアージの計画策定	⑦多様な財源による改修整備	⑧エネルギー使用量の見える化の実施状況	⑨エネルギー消費原単位の削減状況		
北海道教育大学	1	1	1	1	1	1	0	0	1	7	105%
室蘭工業大学	0	1	1	1	1	0	1	0	1	6	95%
小樽商科大学	1	0	1	1	1	1	0	0	3	8	115%
帯広畜産大学	1	1	0	0	1	1	2	0	2	8	115%
旭川医科大学	1	0	1	1	0	1	1	1	0	6	95%
北見工業大学	1	0	1	0	1	1	2	0	1	7	105%
弘前大学	1	1	1	1	1	1	1	0	8	115%	
岩手大学	0	0	1	1	0	1	2	1	0	6	95%
宮城教育大学	1	0	1	1	0	1	1	0	0	5	85%
秋田大学	1	0	1	1	1	1	2	0	0	7	105%
山形大学	1	1	1	1	1	1	2	0	1	9	115%
福島大学	0	1	1	0	0	1	0	1	1	5	85%
茨城大学	1	0	1	1	1	1	0	0	1	6	95%
宇都宮大学	1	1	1	1	0	0	2	0	0	6	95%
群馬大学	0	1	1	1	1	1	0	1	2	8	115%
埼玉大学	1	0	1	0	0	0	2	1	1	6	95%
横浜国立大学	1	1	1	1	1	1	2	1	2	11	120%
新潟大学	1	0	1	1	1	1	0	0	0	5	85%
長岡技術科学大学	1	0	1	0	1	0	1	1	1	6	95%
上越教育大学	0	1	1	1	0	1	0	0	3	7	105%
富山大学	0	0	1	1	1	1	0	1	3	8	115%
福井大学	1	1	1	1	1	1	2	0	3	11	120%
山梨大学	1	0	1	1	1	1	0	0	0	5	85%
信州大学	0	1	1	1	1	1	1	1	0	7	105%
岐阜大学	1	1	1	1	1	1	2	1	2	11	120%
静岡大学	1	0	1	1	0	1	0	0	0	4	80%
浜松医科大学	1	0	1	1	1	1	2	0	0	7	105%
愛知教育大学	1	1	1	1	1	1	2	1	3	12	120%
名古屋工業大学	0	0	1	1	0	1	2	1	2	8	115%
豊橋技術科学大学	1	1	1	1	0	1	1	1	2	9	115%
三重大学	1	0	1	1	1	1	0	1	2	8	115%
滋賀大学	1	1	1	0	0	1	1	0	0	5	85%
滋賀医科大学	1	1	1	1	1	1	0	1	0	7	105%
京都教育大学	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9	115%
京都工芸繊維大学	1	0	0	0	0	1	1	1	1	5	85%
大阪教育大学	1	1	1	1	1	1	1	0	0	7	105%
兵庫教育大学	0	1	1	1	1	1	0	0	1	6	95%
奈良教育大学	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2	80%
和歌山大学	1	1	1	0	1	1	1	0	1	7	105%
鳥取大学	1	1	1	1	1	1	1	1	0	8	115%
島根大学	1	1	1	1	0	1	2	1	0	8	115%
山口大学	1	0	1	1	1	1	0	0	1	6	95%
徳島大学	1	0	1	1	1	1	1	0	1	7	105%
鳴門教育大学	1	1	1	0	0	1	0	0	3	7	105%
香川大学	1	1	1	0	1	1	0	1	2	8	115%
愛媛大学	1	1	1	1	1	1	0	1	0	7	105%
高知大学	1	1	1	1	1	1	0	1	1	8	115%
福岡教育大学	0	1	1	0	1	0	1	0	3	7	105%
佐賀大学	1	1	1	1	0	1	2	1	0	8	115%
長崎大学	1	0	1	1	1	1	0	1	1	7	105%
熊本大学	0	1	1	1	1	1	1	0	0	6	95%
大分大学	0	1	1	1	1	1	2	0	3	10	120%
宮崎大学	1	1	1	1	1	1	0	1	0	7	105%
鹿児島大学	1	1	1	1	1	1	1	1	0	8	115%
琉球大学	1	0	1	1	1	0	0	0	1	5	85%

【重点支援②】

大学等名	1. 施設の有効活用【配点3点】			2. 適切な維持管理【配点5点】				3. サステイナブル・キャンパスの形成に向けた取組状況【配点4点】		合計	配分率
	①施設利用状況調査の実施状況	②稼働率調査実施及び改善による稼働率の上昇	③満足度調査等の実施状況と調査結果のフィードバック	④個別施設計画の策定状況	⑤12条点検対象外建物における点検と改善計画の策定状況	⑥施設のトリアージの計画策定	⑦多様な財源による改修整備	⑧エネルギー使用量の見える化の実施状況	⑨エネルギー消費原単位の削減状況		
筑波技術大学	0	1	1	0	1	0	0	0	0	3	80%
東京医科歯科大学	1	1	1	1	1	1	2	0	1	9	115%
東京外国語大学	0	0	1	1	1	0	2	0	0	5	95%
東京学芸大学	0	0	1	1	0	1	1	0	0	4	90%
東京芸術大学	1	0	1	1	0	1	0	0	0	4	90%
東京海洋大学	0	1	1	0	1	1	1	0	1	6	105%
お茶の水女子大学	0	0	1	1	1	1	0	0	3	7	110%
電気通信大学	1	1	1	1	1	1	2	1	0	9	115%
奈良女子大学	1	0	1	1	1	1	0	0	0	5	95%
九州工業大学	1	1	1	1	0	0	1	0	1	6	105%
鹿屋体育大学	0	1	1	1	1	1	1	0	0	6	105%
政策研究大学院大学	1	0	1	1	1	1	0	0	2	7	110%
総合研究大学院大学	1	0	0	0	0	0	1	0	1	3	80%
北陸先端科学技術大学院大学	0	0	0	0	0	0	2	1	1	5	95%
奈良先端科学技術大学院大学	0	1	1	1	1	1	2	1	2	10	120%

施設マネジメント改革状況 (2/2)

【重点支援③】

大学等名	1. 施設の有効活用【配点3点】			2. 適切な維持管理【配点5点】				3. サステイナブル・キャンパスの形成に向けた取組状況【配点4点】		合計	配分率
	①施設利用状況調査の実施状況	②稼働率調査実施及び改善による稼働率の上昇	③満足度調査等の実施状況と調査結果のフィードバック	④個別施設計画の策定状況	⑤12条点検対象外建物における点検と改善計画の策定状況	⑥施設のトリアージの計画策定	⑦多様な財源による改修整備	⑧エネルギー使用量等の見える化の実施状況	⑨エネルギー消費原単位の削減状況		
北海道大学	1	1	1	1	1	1	0	1	1	8	100%
東北大学	1	1	1	1	0	1	1	0	1	7	85%
筑波大学	1	1	1	1	0	1	2	1	1	9	115%
千葉大学	1	1	1	1	1	1	1	1	0	8	100%
東京大学	1	1	1	1	1	1	2	1	0	9	115%
東京農工大学	1	1	1	1	0	1	1	0	2	8	100%
東京工業大学	1	1	1	0	1	1	0	1	2	8	100%
一橋大学	0	0	1	1	1	1	0	1	1	6	80%
金沢大学	1	0	1	1	1	1	2	1	1	9	115%
名古屋大学	1	1	1	1	1	1	1	1	0	8	100%
京都大学	1	1	1	1	1	1	2	1	0	9	115%
大阪大学	1	1	1	1	1	1	1	1	2	10	120%
神戸大学	1	1	1	1	1	1	1	1	0	8	100%
岡山大学	1	1	1	1	1	1	2	0	0	8	100%
広島大学	1	0	1	1	1	1	2	0	3	10	120%
九州大学	1	0	1	1	0	1	1	0	2	7	85%

【大学共同利用機関法人】

大学等名	1. 施設の有効活用【配点3点】			2. 適切な維持管理【配点5点】				3. サステイナブル・キャンパスの形成に向けた取組状況【配点4点】		合計	配分率
	①施設利用状況調査の実施状況	②稼働率調査実施及び改善による稼働率の上昇	③満足度調査等の実施状況と調査結果のフィードバック	④個別施設計画の策定状況	⑤12条点検対象外建物における点検と改善計画の策定状況	⑥施設のトリアージの計画策定	⑦多様な財源による改修整備	⑧エネルギー使用量等の見える化の実施状況	⑨エネルギー消費原単位の削減状況		
人間文化研究機構	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9	110%
自然科学研究機構	0	0	1	0	0	1	2	0	1	5	80%
高エネルギー加速器研究機構	1	0	1	1	1	1	2	0	3	10	120%
情報・システム研究機構	0	0	1	1	1	1	2	0	3	9	110%

卒業・修了者の就職・進学等の状況

指標の概要

大学の教育による成果として、卒業・修了者がどれだけ就職あるいは進学しているかについて、卒業・修了者数当たりの就職・進学等の状況に基づき、学系（※）ごとに評価

指標の算定方法

①学系別の偏差値を算出

大学ごとに、以下の算定式により学系別に比率を算出し、各比率の学系内における偏差値を算出

$$\text{当該学系における（就職者数+進学者数）} \div \text{当該学系における卒業・修了者数}$$

②大学別の平均偏差値を算出

各大学の学系ごとの偏差値を、卒業・修了者数で加重平均することにより得られた数値を指標とする

指標に用いるデータの定義等

○就職・進学者数

2017年度（平成29年度）～2019年度（令和元年度）における就職・進学者数の3か年平均

出典：文部科学省高等教育局国立大学法人支援課調査（令和2年12月）における「卒業・修了者の就職・進学の状況（H29-R元）」

○卒業・修了者数

2017年度（平成29年度）～2019年度（令和元年度）における卒業・修了者数の3か年平均

出典：文部科学省高等教育局国立大学法人支援課調査（令和2年12月）における「卒業・修了者の就職・進学の状況（H29-R元）」

※学系…国立大学法人評価の中で、（独）大学改革支援・学位授与機構が実施する教育研究に関する評価において実施される「現況分析」における評価単位（人文科学系、社会科学系、理学系、工学系、農学系、保健系、教育系、総合文系、総合理系、総合融合系）。次頁以降、特に断りがない限り、学系とは上記を指す

博士号授与の状況

指標の概要

特に博士課程における学修成果として、学位をどれだけ授与しているかについて、博士課程入学定員当たりの学位授与数の状況に基づき、学系ごとに評価

指標の算定方法

①学系別の偏差値を算出

大学ごとに、以下の算定式により学系別に比率を算出し、各比率の学系内における偏差値を算出

当該学系における学位（課程博士）授与数／当該学系における博士課程入学定員

（※100%を上限）

②大学別の平均偏差値を算出

各大学の学系ごとの偏差値を、博士課程入学定員で加重平均することにより得られた数値を指標とする

指標に用いるデータの定義等

○学位（課程博士）授与数

2017年度（平成29年度）～2019年度（令和元年度）における学位（課程博士）授与数の3か年平均

出典：文部科学省高等教育局国立大学法人支援課調査（令和2年12月）における「博士号授与の状況（H29-R元）」

○博士課程入学定員

2017年度（平成29年度）～2019年度（令和元年度）に学位授与を行った博士課程の標準修業年限に応じた入学定員の3か年平均※

出典：文部科学省高等教育局国立大学法人支援課調査（令和2年12月）における「博士号授与の状況（H29-R元）」

※標準修業年限3年の場合…2015年度（平成27年度）～2017年度（平成29年度）の平均

標準修業年限4年の場合…2014年度（平成26年度）～2016年度（平成28年度）の平均

標準修業年限5年の場合…2013年度（平成25年度）～2015年度（平成27年度）の平均

カリキュラム編成上の工夫の状況

指標の概要

各大学における教育課程において、教育内容の充実に資する取組や学修成果の質保証に資する取組がどれだけ行われているかについて、カリキュラム編成上の工夫の状況に基づき、学系ごとに評価

指標の算定方法

①学系別の点数を算出

大学ごとに、学系別に以下の観点を確認し、学系内の学部・研究科において当てはまっている場合に加点 【配点：各1点】

- ✓ 入学から卒業に至るまでの学生の資質・能力の変化と授業科目の履修履歴といった教学データを蓄積し、これらを活用した組織的な教育改善の取組を実施している
- ✓ 教育課程の編成に係る検討の段階から、組織的に学外のステークホルダーが参画する仕組みを設けている
- ✓ GPA に応じた履修上限単位数の設定している
- ✓ シラバスに「準備学修に必要な学修時間の目安」を設定している
- ✓ 学修成果を可視化し、就職活動時や卒業時に企業等に対して分かりやすく提示する取組を実施している
- ✓ 卒業生に対する追跡調査や雇用主等に対する卒業生の評価に関する調査を行い、その結果を教育改善につなげる組織的な取組を実施している

②大学別の平均点を算出

各大学の学系ごとの点数を入学定員で加重平均することにより得られた数値を指標とする

指標に用いるデータの定義等

○観点

文部科学省高等教育局国立大学法人支援課調査（令和2年12月）における「カリキュラム編成上の工夫の状況」における設問及び回答

○入学定員

2020年度（令和2年度）における入学定員

出典：文部科学省高等教育局国立大学法人支援課調べ

若手研究者比率

指標の概要

各機関の研究環境の向上・改善の観点から、若手研究者がどれだけ在籍しているかについて、常勤教員数当たりの若手研究者数の状況に基づき、学系ごとに評価

指標の算定方法

①学系別の偏差値を算出

機関ごとに、以下の算定式により学系別に比率を算出し、各比率の学系内における偏差値を算出

当該学系における若手研究者数／当該学系における常勤教員数

②機関別の平均偏差値を算出

各機関の学系ごとの偏差値を、常勤教員数で加重平均することにより得られた数値を指標とする

指標に用いるデータの定義等

○若手研究者数

2017年度（平成29年度）～2019年度（令和元年度）の若手研究者（常勤教員のうち40歳未満の者）数の3か年平均。

出典：文部科学省高等教育局国立大学法人支援課調査（令和2年9月）における「若手研究者の雇用状況（H29-R元）」

○常勤教員数

2017年度（平成29年度）～2019年度（令和元年度）の常勤教員数の3か年平均。

出典：文部科学省高等教育局国立大学法人支援課調査（令和2年9月）における「若手研究者の雇用状況（H29-R元）」

※次頁以降、特に断りがない限り、常勤教員数とは上記を指す。

運営費交付金等コスト当たり TOP10%論文数

指標の概要

各機関が質の高い研究成果をどれだけ算出しているかについて、運営費交付金など基盤的経費投入コスト当たりの被引用数 TOP10%の論文の件数に基づき、評価

本指標に基づく評価については、運営費交付金における重点支援の枠組において、重点支援③（主として、卓越した成果を創出している海外大学と伍して、全学的に世界で卓越した教育研究、社会実装を推進する取組を第3期の機能強化の中核とする国立大学を重点的に支援する）を選択した大学及び大学共同利用機関について実施

指標の算定方法

○機関ごとに、以下の算定式により得られた数値を指標とする

$$\text{TOP10\%論文数} / (\text{運営費交付金等} + \text{科研費等})$$

指標に用いるデータの定義等

○TOP10%論文数

2018年（平成30年）から2020年（令和2年）11月現在までの、大学別の被引用数の高い論文を示すTOP10%論文数（整数カウント）。

出典：(株)クラリベイト・アナリティクス・ジャパン提供のデータを参考にしつつ、(株)エルゼビア・ジャパンのデータを活用

○運営費交付金等

2018年度（平成30年度）及び2019年度（令和元年度）の国立大学法人運営費交付金等予算額（特殊要因運営費交付金を除き、国立大学機能強化促進費（補助金）を含む）の2か年平均。

○科研費等

2018年度（平成30年度）及び2019年度（令和元年度）の科学研究費補助金など研究者個人を対象とする競争的研究費の受入額の2か年平均。

常勤教員当たり研究業績数

指標の概要

各機関の研究活動の結果として、どれだけの成果を創出しているかについて、常勤教員当たりの研究業績数に基づき、学系ごとに評価

指標の算定方法

①学系別の偏差値を算出

機関ごとに、以下の算定式により学系別に比率を算出し、各比率の学系内における偏差値を算出

$$\text{当該学系における研究業績数} / \text{当該学系における常勤教員数}$$

②機関別の平均偏差値を算出

各機関の学系ごとの偏差値を、常勤教員数で加重平均することにより得られた数値を指標とする

指標に用いるデータの定義等

○研究業績数

2017年度（平成29年度）～2019年度（令和元年度）における研究業績数の3か年平均。なお、学系ごとの研究業績の定義は次のとおり。

人文科学系、社会科学系、教育系、総合文系、総合融合系	査読付き論文数、ISBNが付与されている学術図書※、作品等※
工学系、理学系、農学系、保健系、総合理系	査読付き論文数

出典：文部科学省高等教育局国立大学法人支援課調査（令和2年11月）における「研究業績数調査（H29-R元）」

※1 ISBN…（International Standard Book Number）書籍出版物を特定するために用いられる、国際的な識別コード番号

※2 学術図書…個人又は研究者グループ等が、学術研究の成果を公開するために刊行した図書のうち、以下のものを除いたもの

- ① 既に類似の成果が刊行されているもの
- ② 既にインターネットや学術誌等を通じて公表されている論文、又は公表が義務づけられている論文（例：博士論文）を単に集成し、刊行するもの

③ 学術研究の成果とは言い難いもの

【学術研究の意義】

研究者の自由な発想と研究意欲を源泉として行われる知的創造活動であり、人間の精神生活を構成する要素としてそれ自体優れた文化的価値を有するもの

※ 3 作品…発表作品のうち、以下の①及び②のみを対象とする

- ① 公的機関（国、地方公共団体または文化・芸術の振興を目的としており行政庁（内閣府または都道府県）からの公益認定を受けている法人）またはそれに準ずる国内外の機関、またはそれらの機関が設置する文化芸術施設による招待、あるいは審査を経て、公的な作品展・芸術祭・演奏会・公演において公開されたもの。（大学において開催される作品展等で公開されたものは除く。）
- ② 公的機関またはそれに準ずる国内外の機関による招待、あるいは選抜を経て、各地域の代表者が集まる全国大会や国際大会に選手として出場したもの。（大学において開催される競技大会等に選手として出場したものは除く。）

常勤教員当たり科研費獲得額・件数

指標の概要

各機関の研究活動や研究環境整備の成果として、科研費をどれだけ獲得しているかについて、常勤教員当たりの科研費獲得額及び件数の状況に基づき、学系ごとに評価

指標の算定方法

①項目別・学系別の偏差値を算出

機関ごとに、以下の算定式により学系別に比率を算出し、各比率の学系内における偏差値を算出

当該学系における科研費獲得額／当該学系における常勤教員数

当該学系における科研費獲得件数／当該学系における常勤教員数

②項目別・機関別の平均偏差値を算出

①により算出したそれぞれの学系ごとの偏差値を、常勤教員数で加重平均し、獲得額・件数のそれぞれの機関別の平均偏差値を算出

③機関別の平均偏差値を算出

②により算出した項目別・機関別の偏差値を、算術平均することにより得られた数値を指標とする

指標に用いるデータの定義等

○科研費獲得額・件数

2017年度（平成29年度）～2019年度（令和元年度）の科研費獲得額及び件数（新規＋継続）の3か年平均。

出典：文部科学省高等教育局国立大学法人支援課調査（令和2年9月）における「科研費受入実績の状況（H29-R元）」

常勤教員当たり受託・共同研究等受入額

指標の概要

各機関がどれだけ研究教育資金を獲得しているかについて、常勤教員当たりの受託・共同研究、受託事業受入額の状況に基づき、重点支援の枠組ごとに、学系ごとの評価の要素を加味して評価

指標の算定方法

①学系別の偏差値を算出

機関ごとに、以下の算定式により学系別に比率を算出し、各比率の学系内における機関別偏差値（学系）を算出

$$\text{当該学系における受託・共同研究、受託事業受入額} / \text{当該学系における常勤教員数}$$

②重点支援の枠組別の偏差値を算出

機関ごとに、以下の算定式により機関別に比率を算出し、各比率の重点支援の枠組内における機関別偏差値（重点）を算出

$$\text{受託・共同研究、受託事業受入額} / \text{常勤教員数}$$

③機関別の平均偏差値を算出

各機関の機関別偏差値（学系）及び機関別偏差値（重点）を、常勤教員数※で加重平均することにより得られた数値を指標とする

※常勤教員数は令和元年度の人数

指標に用いるデータの定義等

○受託・共同研究、受託事業受入額

2019年度（令和元年度）の受託・共同研究、受託事業受入額（国・独立行政法人・国立大学法人からの受入分を除く）。

出典：文部科学省高等教育局国立大学法人支援課調査（令和2年9月）における「外部資金受入実績の状況（R元）」

人事給与マネジメント改革状況

指標の概要

各機関における人事給与マネジメント改革の進捗状況について、人事計画の策定状況、全学統一的な業績評価の実施状況、外部資金の活用状況を各法人へ調査し、その回答に基づき、重点支援の枠組ごとに評価

指標の算定方法

①機関別の点数を算出

機関ごとに以下の観点を確認し、当てはまっている場合に加点

1. 人事計画の策定状況【配点5点】

(1) 適正な年齢構成の実現（5点）

- ①大学として目指すべき適正な年齢構成を定め、実績とともに公表している（1点）
- ②大学として中長期的な雇用計画を策定している（2点）
 - a)定年退職者等を踏まえた具体的な雇用計画を立てている 0.5点
 - b)計画が順調に進んでいる 0.5点
 - c)適正な年齢構成を実現するための仕組みを導入し運用している 1点
- ③シニア教員に対する人事給与施策（年俸制やクロスアポイントメント促進、外部資金による任期付き雇用への転換促進など）を通じて、若手教員の安定的なポスト確保を図っている（1点）
- ④若手研究者比率の向上に取り組んでいる（1点）

2. 全学統一的な業績評価の実施状況【配点3点】

(1) 教員の業績を適切に評価するとともに処遇に反映するための取組（2点）

- ①年齢や職位に関わらず、優れた業績を適切に評価するとともにその評価結果を給与に反映している（0.5点）※年俸制の給与にも反映している場合は、更に0.5点加点
- ②評価結果を処遇に反映する際に、給与以外に以下の活用方法を取り入れている（1点）
 - a)昇任や雇用更新時等に実施される業績審査への活用 0.4点
 - b)研究費の配分など研究環境の整備への活用 0.4点
 - c)サバティカル休暇・研修の付与、顕彰、称号付与等 0.2点

(2) 新年俸制の導入について（1点）

- ①新年俸制を導入している（0.5点）
- ②月給制に比して、業績をより適切に給与に反映させる仕組みを取り入れている（0.5点）

3. 外部資金の活用状況【配点4点】

(1) 人件費への外部資金の活用状況（2点）

- ①任期無しの大学教員の雇用財源に外部資金（寄附金、共同研究費、競争的資金等）を活用している（1点）
- ②雇用財源に外部資金を活用することで、大学教員の能力や貢献度に応じた、標準を上回る高額給与の支給を可能にする給与制度を実施している（0.5点）
- ③雇用財源に外部資金を活用することで捻出された学内財源を若手ポスト増設や事務部門の環境改善に有効活用している（0.5点）

(2) クロスアポイントメント制度の活用状況（2点）

- ①営利法人（民間企業）とのクロスアポイントメントを推進している（1点）
 - a)民間企業への派遣実績 0.5点
 - b)民間企業からの受入実績 0.5点
- ②クロスアポイントメント制度適用教員に対してインセンティブを付与している（1点）

②機関別の合計点を算出

各機関の点数を合計することにより得られた数値を指標とする

指標に用いるデータの定義等

○観点

文部科学省高等教育局国立大学法人支援課調査（令和2年12月）における「人事・給与マネジメントの推進状況調査」における設問及び回答。

ダイバーシティ環境醸成の状況

指標の概要

各機関におけるダイバーシティ環境がどれだけ醸成されているかについて、外国人教員・女性教員の比率や留学生・社会人学生・障害学生の比率、障害者雇用比率に基づき、重点支援の枠組ごとに評価

指標の算定方法

①重点支援別の偏差値を算出

機関ごとに、以下の算定式により比率を算出し、各比率の重点支援の枠組内における偏差値を算出

$$\frac{\text{（外国人教員比率・女性教員比率）外国人教員・女性教員／常勤教員数}}{\text{（留学生比率・社会人学生比率・障害学生比率）留学生・社会人学生・障害学生}} \times \frac{\text{の各人数／学生数}}{\text{（障害者雇用比率）厚生労働省の公表データを活用}}$$

②機関別の平均偏差値を算出

各偏差値を算術平均することにより得られた数値を指標とする

指標に用いるデータの定義等

○外国人教員

常勤教員のうち、国籍が日本以外の者の人数（令和2年5月1日現在）。

出典：文部科学省高等教育局国立大学法人支援課の調査

○女性教員

常勤教員のうち、性別が女性の者の人数（令和2年5月1日現在）。

出典：文部科学省高等教育局国立大学法人支援課の調査

○障害者雇用比率

教職員のうち、障害を持つ者の実雇用率（令和2年6月1日現在）。

出典：「令和2年高年齢者及び障害者の雇用状況報告」（令和2年6月 厚生労働省）

○留学生

学部及び大学院に在籍する学生のうち、留学生の者の人数（令和2年5月1日現在）。

出典：大学基本情報（(独) 大学改革支援・学位授与機構ウェブサイト）

○障害学生

学部及び大学院に在籍する学生のうち、障害を持つ学生の人数（令和2年5月1日現在）

出典：文部科学省高等教育局国立大学法人支援課調査（令和2年12月）における「障害学生の在籍状況（R元）」

○**社会人学生**

大学院に在籍する学生のうち、社会人学生の人数（令和2年5月1日現在）。

出典：大学基本情報（(独) 大学改革支援・学位授与機構ウェブサイト）

○**学生数**

学部及び大学院に在籍する学生の人数（令和2年5月1日現在）。

出典：大学基本情報（(独) 大学改革支援・学位授与機構ウェブサイト）

会計マネジメント改革状況

指標の概要

各機関における会計マネジメント改革の進捗状況について、学内のマネジメント、学外への情報開示、産学連携推進に向けた環境整備の取組を各法人へ調査し、その回答に基づき、重点支援の枠組ごとに評価

指標の算定方法

①機関別の点数を算出

機関ごとに以下の観点を確認し、当てはまっている場合に加点

1. 学内の見える化と戦略的な資金配分（学内の可視化による資源配分の最適化）

【配点 3.5 点】

（1）「成果を中心とする実績状況に基づく配分」に用いる指標の評価結果の共有状況（1点）

- ① 「成果を中心とする実績状況に基づく配分」に用いる指標の学系ごとの評価結果を、役員・部局長に共有している（1点）

（2）学部・研究科等ごとの決算情報等の予算配分等への活用状況（2.5点）

- ① 「成果を中心とする実績状況に基づく配分」の指標の評価結果に基づいて部局の予算配分を行っている（1点）
- ② 各大学で設定した独自の評価による成果や実績に基づいて部局の予算配分を行っている（0.5点）
- ③ 経営判断への活用に向けた決算情報と教育研究成果・実績等の比較分析及び活用状況（1点）

2. 学外への見える化（経営情報の社会との共有）【配点 4 点】

（1）学部・研究科等ごとのセグメント情報の開示状況（2点）

- ① 学部・研究科等ごとのセグメント情報の開示状況（2点）
 - ✓ 財務情報（「費用」及び「収益」）と非財務情報（教育研究等の成果・実績等）の開示内容に応じて配点

（2）大学独自のステークホルダーへの情報開示の取組（2点）

- ① 財務報告書等による情報開示の状況（1点）
 - ✓ 開示内容の充実度に応じて配点
- ② ステークホルダーに対する対話型の情報開示の状況（1点）
 - ✓ ステークホルダーに対する対話型の情報開示の状況に応じて配点

3. 産学連携の推進のための環境整備【配点 2 点】

(1) 産学連携の推進のための間接経費等の確保

① 共同研究に必要となる間接経費等コストの確保 (2 点)

✓ 間接経費の設定率及び実績に応じて配点

②機関別の合計点を算出

各機関の点数を合計することにより得られた数値を指標とする

指標に用いるデータの定義等

○観点

文部科学省高等教育局国立大学法人支援課調査(令和2年12月)における「会計マネジメントの推進状況調査」における設問及び回答。

寄附金等の経営資金獲得実績

指標の概要

各機関がどれだけ経営資金を獲得しているかについて、教員一人当たりの寄附金及び雑収入の獲得実績に基づき、重点支援の枠組ごとに評価

指標の算定方法

○機関ごとに、以下の算定式により得られた数値を指標とする

$$\text{（寄附金受入額 + 雑収入受入額）} / \text{常勤教員数} \times$$

※常勤教員数は令和元年度の人数。

指標に用いるデータの定義等

○寄附金受入額

2019年度（令和元年度）中に受け入れた寄附金の総額。

出典：2019年度財務諸表（令和元年度）

○雑収入受入額

2019年度（令和元年度）中に獲得した雑収入の総額。

出典：文部科学省高等教育局国立大学法人支援課調べ

施設マネジメント改革状況

指標の概要

各機関における施設マネジメント改革の進捗状況について、施設の有効活用、適切な維持管理、サステナブル・キャンパスの形成に向けた取組状況を各法人へ調査し、その回答に基づき、重点支援の枠組ごとに評価

指標の算定方法

①機関別の点数を算出

機関ごとに以下の観点を確認し、当てはまっている場合に加算

1. 施設の有効活用【配点3点】

①施設利用状況調査の実施状況（1点）

（保有面積（附属病院及び未完建物は除く）に対する調査対象面積の割合が8割以上かつ1年以内の周期で調査を実施している場合は1点）

②講義室等の稼働率調査と改善の状況（1点）

（講義室等の稼働率調査を行い、改善策を講じて、稼働率が上昇している場合に1点）

③改築や大規模改修等を実施した建物におけるユーザーへの施設満足度調査等の実施状況と調査結果のフィードバック（1点）

2. 適切な維持管理【配点5点】

①インフラ長寿命化計画（個別施設計画）の策定状況（1点）

（令和2年3月末までに策定済みかつ外部・学内に公表している場合に1点）

②建築基準法第12条第1項の点検対象外建物における点検と改善計画の策定状況（1点）

（点検対象面積の8割以上かつ改善計画を策定している場合に1点）

③施設の老朽化評価等による整備等の優先付けやトリアージの状況（1点）

（整備や維持管理の優先付け及び、施設のトリアージの計画を策定している場合に1点）

④多様な財源等による改修整備実績（保有面積比）（平成30年度及び令和元年度）（2点）

（上位30法人は2点、上位31～60法人は1点）

3. サステナブル・キャンパスの形成に向けた取組状況【配点4点】

①エネルギー使用量等の目標値を設定した費用抑制と「見える化」の実施状況（1点）

（「見える化」については、全ての主要キャンパスを対象かつ捕捉率90%以上。さらに、電力の公表頻度が月に1回以上かつ公表単位が学部以下の場合に1点）

②エネルギー消費原単位の削減状況（3点）

（5年度間平均原単位変化が97%以下は3点、97%超98%以下は2点、98%超99%以下は1点）

②機関別の合計点を算出

各機関の点数を合計することにより得られた数値を指標とする

指標に用いるデータの定義等

○観点

文部科学省高等教育局国立大学法人支援課調査（令和2年9月）における「施設マネジメントの推進状況調査」における設問及び回答。

文部科学省文教施設企画・防災部計画課調査（平成31年3月・令和2年3月）における「国立大学法人等施設の実態の把握について」（多様な財源を活用した施設整備に関する取組状況について）における設問及び回答。